



兵庫県立 南但馬自然学校

指導課だより NO, 18

平成26年6月11日

グループに分けることで、ゆったりとしたプログラムを!

5月6日から始まった今年度の自然学校は、1ヶ月が過ぎ、それぞれ利用校のねらいのもと活動が展開されています。児童数が多いと、移動・集合に時間がかかり、また先生方の目が行き届かなかったり引き継ぎが十分にできなかったりで、プログラムを考えるのに苦労されている話を聞きます。そんな中で、全体を2～3グループに分けている取組を紹介します。

宝塚市立宝塚第一小学校では、1・2・5組と3・4組の2グループに分け、2日目と3日目に野外炊事と隠れ家づくり・木工クラフトを交互に取り組むように計画されました。今年度、「友だちと協力して絆を深める!」というテーマにそった活動ということで、前年度の朝来山登山から隠れ家づくりに変更されました。児童は、班員と力を合わせ、意欲的に隠れ家づくりに取り組むことができ、普段の学校生活では体験できないことが体験できたことにより、友だちとの関わりなどたくさんの成長が見られました。また、全体を2グループに分けたことで、引率者に余裕ができ充実した活動となったと先生方から好評を得ています。

2日目			3日目		
(1,2,5組) 野外炊事 (カレー) ●OR 18班	(3,4組) かくれ家 づくり ●OR 12班	9:00 野外キッチン きつね横フィールド 雨:午前・隠れ家6班(大屋根) 木工クラフト6班(工作室) 午後・午前の班と入替え	(3,4組) 野外炊事 (カレー) ●OR 12班	(1,2,5組) かくれ家 づくり ●OR(大屋根) 18班	9:00 野外キッチン きつね横フィールド 自然観察館裏 雨:午前・隠れ家9班(大屋根) 木工クラフト9班(工作室) 午後・午前の班と入替え
昼食(自炊)	昼食(弁当)	12:15 フィールド内 野外キッチン	昼食(自炊)	昼食(弁当)	12:15 フィールド内 野外キッチン
	木工クラフト	13:30 工作室		木工クラフト	13:30 工作室



明石市立大久保小学校では、グループ①(1組1,2班2組5班3組3,4班4組1,2班5組5班)・グループ②(1組3,4班2組1,2班3組5班4組3,4班5組1,2班)・グループ③(1組5班2組3,4班3組1,2班4組5班5組3,4班)に分け、2～4日目に、野外炊事・ひのきホルダーづくり、隠れ家づくり、藍染め・棒焼きパンをローテーションで取り組まれました。昨年度に野外炊事や隠れ家づくりなどの活動の在り方について助言し、今年度は、全体を3グループに分けて活動するという形で活かされました。先生方に今回の活動形態について尋ねると、「子どもたちの様子を見てみると、一人一人がしっかり主体的に活動することができている。来年度以降もこのような形態で実施しようと教員間で話している」という前向きな回答を得ることができました。野外炊事では、準備から片付けまで非常にスムーズで、午後からの活動を予定よりも早めに取り組むことができ、隠れ家づくりでは、グループで協力して完成まで取り組んでおり、指導者の目も行き届いているように感じられました。何よりも、各組5班を3グループに分け、その日の振り返りで他の活動の様子を聞くことで、**活動のイメージや見**

通し等がつき子どもたちに安心感を与るとともに意欲付けになるなど、その効果が大きいと言えます。担当の指導補助員を固定化することで、指導補助員にとって一つの活動しか関われないというデメリットはありますが、その活動のプロとして子どもたちへの接し方は随分と良くなっていくし、学校の全ての子どもたちに関わることができるというメリットがあります。

グループ①		グループ②		グループ③	
Aメニュー 野外炊事 9:00 (オリジナルメニュー) ●OR (指導補助員6名)	野外キッチン	Bメニュー 隠れ家づくり 9:00 【戸川勝、田村】 ●OR (指導補助員2名)	きつね入口横 (雨: 大屋根)	Cメニュー 藍染め 9:00 【戸川万、和田】 ●OR (指導補助員2名)	工作室
昼食(自炊) 12:00	野外キッチン	昼食 12:00	食堂	昼食 12:00	食堂
ひのきホルダーづくり 14:00	工作室	隠れ家づくり 13:00	きつね入口横	棒焼きパン 13:00 ★火おこし器	野外キッチン
		隠れ家コンテスト 15:00	きつね入口横		
		コンテスト終了 15:30			



また、児童数が多いということから、最終日に生活棟だけでなく、食堂前、大屋根広場の周辺、生活棟への階段、浴室棟への通路等を「来たときよりも美しく」という精神のもと、自主的に清掃してくれました。本当に、ありがとうございました。今後も、このような学校や子どもたちが増えてくれることを望んでいます。

福崎町立田原・福崎・高岡・八千種小学校連合は、中学校区ごとの2校毎に分け、2～4日目に朝来山登山・野外炊事・円山川カヌーでのカッター等の体験をずらして組み合わせています。

3団体とも、ほぼ200名の児童がいます。本校の収容人数の関係から、200名が一斉に野外炊事や隠れ家づくりを行うことはできません。どんな活動であっても、人数が多いと時間がかかってしまいます。そうすると、計画通りに進まず、子どもたちも落ち着きがなくなり、ついつい注意することばかりになってしまいます。慌ただしい中では、ただその活動を体験しただけで、「楽しかった」「おもしろかった」で終わってしまうことがあります。子どもたちに、考える時間、余裕がないのです。子どもたちの実態に応じた、先生方の思いを取り入れた南但馬自然学校で日頃出来ない様々な自然体験をさせようと考えたプログラムも、台無しになってしまいます。自然学校期間中、子どもたちは、それぞれの活動をやらされているのではなく、子どもたち自身が主体的に取り組んでいるのです。そんな時、子どもたちは、教室や学校では見せない意外な力を発揮したり、教師の想像を超えた成長があったりするものです。子どもたちの「のびしろ」の部分を大切にしてください。そのためにも、ゆとりのある時間配分のもとで、プログラムを考えてみてください。児童数が少ない学校でも、同様のことが言えます。

今年度初めての利用であった稲美町立天満東小学校から、「職員一同、不安がたくさんあったのですが、充実した5日間を過ごすことができました。児童にとって自然に恵まれた環境で、毎日楽しく活動することで、自然の素晴らしさを肌で感じることができました」という感想を頂きました。**ゆったりとした時間設定がなされ、特に3日目は、班員で力を合わせひのきの触り心地、匂いを感じながら、幹を切断したり、個々が自身の作成した設計図をもとにひのきホルダーづくりを行ったりするなど、特色ある取組でした。**

編集後記

全体をグループに分けることで、一人一人が生き生きとすることもあります。今回は、児童数の多い学校のプログラミングの参考になればと思い、「指導課だより」を作成しました。

(文責 主任指導主事兼指導課長 北條 勝也)